



Kringle
Pharma

平成 19 年 7 月 11 日

各 位

**クリングルファーマ株式会社は大阪大学に
「クリングルファーマ再生創薬共同研究部門」を開設いたしました。**

クリングルファーマ株式会社（本社：大阪府豊中市、代表取締役社長：岩谷邦夫、以下「クリングルファーマ」）は、本年7月より、大阪大学（本部：大阪府吹田市、総長：宮原秀夫）の先端科学イノベーションセンター内に「クリングルファーマ再生創薬共同研究部門」（以下「再生創薬共同研究部門」）を開設いたしました。

大阪大学発創薬ベンチャーであるクリングルファーマは、これまで大阪大学と共同研究を行いながら肝細胞増殖因子HGFとそのアンタゴニストNK4の研究開発を進めてまいりました。この度、大阪大学に基軸をおいて創薬研究をさらに発展させるために、大学発ベンチャー育成の場である先端科学イノベーションセンター内に「再生創薬共同研究部門」を新設することといたしました。「再生創薬共同研究部門」は、大阪大学内の諸研究部門と連携し学際的複合領域にわたる研究技術を活用することにより、より高度な独創的創薬研究を加速推進することを目標とします。

「再生創薬共同研究部門」は、平成18年4月にスタートした大阪大学の共同研究講座制度に基づいて設置されます。本制度は、外部企業の研究者と大阪大学の教員とが対等の立場で共同して研究を行うことによって、優れた研究成果が生まれることを促進する制度です。「再生創薬共同研究部門」の設置期間は平成22年3月31日までとし、クリングルファーマの研究者が招へい准教授として大阪大学教員とともに運営を行います。また、クリングルファーマは「再生創薬共同研究部門」に研究員を派遣し、創薬研究を推進します。

クリングルファーマの代表取締役社長岩谷邦夫は、次のようにコメントしています。「この度、大阪大学先端科学イノベーションセンター内に「再生創薬共同研究部門」を開設できたことを大変うれしく思います。これまで、大阪大学の共同研究講座制度の利用は大企業に限られていました。「再生創薬共同研究部門」は大学発ベンチャーでは初めての承認となりますので、ベンチャー企業と大学間の産学連携モデルケースとなるように成果を出したいと思います。クリングルファーマは、大阪大学発ベンチャーとして今後も大阪大学に拠点を置き、その優れた人材とインフラを活用しながら独創的な医薬品シーズの創出を目指します。」



Kringle
Pharma

クリングルファーマについて：

クリングルファーマは、大阪大学発バイオベンチャーとして2001年12月に設立されました。大阪大学大学院医学系研究科の中村敏一教授が発見したHGF、および同教授と金沢大学がん研究所の松本邦夫教授が発見したNK4の医薬品開発を通じ、新規のバイオ医薬品の開発に注力しています。HGFは生体において内因性の修復因子として重要な役割を担っており、再生治療薬として大きな可能性を秘めています。また、NK4は癌の成長のみならず浸潤・転移を抑制し、様々な種類の癌に優れた制癌効果を発揮することが期待されています。より詳細な情報は、弊社ウェブサイト (www.kringle-pharma.com) をご覧ください。

問合せ先：

安達喜一

クリングルファーマ株式会社

取締役副社長兼事業開発部長

電話 06-6831-3330、 電子メール info@kringle-pharma.com